

# 大泉

## 校風

石井 友行

校風を作るのは難しい。ましてや、教員側の思うような校風を子供たちが自分の学校の文化として守ったり作っていきうとしたりする意識を育てていくには長い時間が必要です。先日、とてもうれしう出来事がありました。

朝、校門で子供たちを迎えようと外に出て行った時のことです。二年生が列を作って元気よく

「おはようございます！」と声をかけてくれたのです。「あれ、あいさつ月間は終わっているし、あいさつ応援隊は三年生以上だし、どうしたのかな。」と聞いてみると

「あいさつ応援隊は三年生からじゃないとできないから、自分たちですすんでやっています。」

と答えが返ってきました。その場では

「ありがと。よろしく願います。」と声をかけて終わったのですが、じわじわとうれしさがこみ上げてきます。「やっ」とこまで」と思うと感無量。もともと

本校のあいさつ応援隊の取り組みは自由参加でした。強制はしません。自らすすんであいさつ応援をしようと思う子が取り組みに参加していました。その活動を

< 発行 >  
練馬区立大泉小学校  
< 所在地 >  
練馬区東大泉 4-25-1  
TEL 03-3924-0144  
FAX 03-5387-2092



始めて四年。参加者はどんどん増えて、参加が当たり前のようないふれあいの出来事です。上級生の取り組みを見て、私たちもやりたいと思ひ、できることから始めようとする。誰が指示したわけでもありません。子供たち自らが考え、工夫し、行動を起こしました。二年生はもちろん立派です。でもそれを引き出したのは三年生以上の上級生が一生懸命にあいさつ応援隊の取り組みをしてくれたからに他なりません。「校風」は上級生から下級生にこうして伝わり、できあがっていくのだなと強く思いました。言葉は不要でした。

学校評価へのご協力ありがとうございました。集計の結果、すべての項目で80%以上の肯定的な評価をいただきました。特に、これまで「あいさつ」「言葉遣い」については厳しいご指摘をいただいていたのですが、今回の集計では評価結果が大幅に向上しています。子供たち自身もその変化を実感として感じ取っているようです。これもひとえにご家庭や地域の協力のおかげだと考えております。もちろんこの結果に甘んじることなくこれから子供たちのために学校改善の努力は続けて参ります。いよいよ三月になりました。一年間のまとめの月です。子供たちが夢と希望をもって進級できるよう指導を進めていきます。

### 3月の行事予定

- 3日(月) 20日(木) 大掃除月間
  - 3日(月) 保護者会(12)
  - 4日(火) 保護者会(56)
  - のれん発表会(5)
  - 5日(水) 6年生を送る会
  - お別れ給食会
  - 6日(木) 委員会活動
  - 安全指導・安全点検
  - 7日(金) 保護者会(34)
  - 遠足(五)
  - 8日(土) 金管バンド定期演奏会
  - 10日(月) 築立ちの会
  - 5年生以下特別時程5時間授業
  - 新入級児保護者会(五)
  - のれん販売会
  - 12日(水) 地域班集会
  - 13日(木) クラブ活動
  - 買い物学習(五)
  - 17日(月) 保護者会(五)
  - 20日(木) 給食終
  - 21日(金) 春分の日
  - 24日(金) 修了式
  - 卒業式リハーサル
  - 25日(火) 卒業式
  - 26日(水) 春季休業日始
- 地震を想定した予告なしの避難訓練を実施します。

### 卒業おめでとう



### 《3月の生活目標》 「身の回りの整理整頓を しっかりとしましょう」

早いもので今年度も最後の月になりました。三月の生活目標は「身の回りの整理整頓をしっかりとしましょう」です。さて、私たちは「整理整頓」という言葉をひとまとめに使っていますが、「整理」と「整頓」は、それぞれ少し違った意味をもっています。

「整理」は、「乱れた状態にあるものを整えて、きちんとすること」「無駄なもの、不要なものを処分すること」という意味があります。

一方「整頓」は、「乱れ散らかったものを、正しい位置にきちんと置くこと」という意味があります。

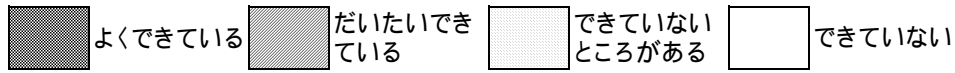
無駄なもの、不要なものは捨て、正しい位置にきちんと置くことで、使いやすく、見栄えもよくなります。

### 「心のふれあい相談室」について

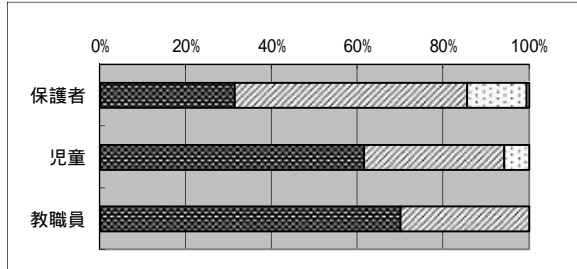
ふれあい相談員は、浅沼玲子相談員です。  
・時間は：火曜日・水曜日  
金曜日：10時～16時  
・場所は：和室 で行います。

## 学校評価アンケートの結果報告と考察

学校関係者(学校評議員)評価を加えて考察いたしました。来年度の教育課程に反映していきます。



### 1. すすんであいさつができる児童を育てていきます。



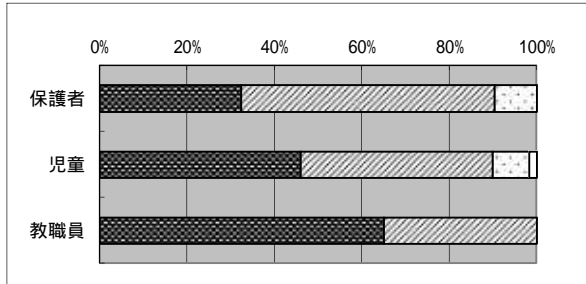
**現状**  
 ・全体的に印象はよい。学校評議員からも、あいさつがよくなったという評価をいただきました。  
 ・あいさつ月間の時はよくできているが、普段はあまりできていないこともあります。  
 ・6年生がよいお手本となっています。

**今後**  
 ・日常的にあいさつができるよう月間以外でも指導を続けていきます。朝のあいさつだけでなく、来校者へのあいさつ(こんにちは・会釈)もできるようにしていきます。教員が見本となって積極的に声もかけていきます。

#### 「よくできている」「だいたいできている」(+評価)の割合

	保護者	児童	教職員
25年度	85.5%	94.2%	100%
24年度	77.7%	90.3%	92.3%

### 2. 友達を思いやり、互いに助け合って学校生活を送ることができるようにします。



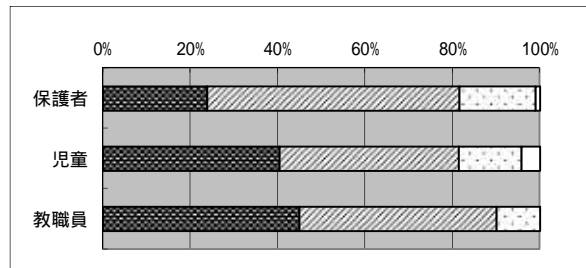
**現状**  
 ・全体的に高い評価です。児童によっては、相手のことを考えられない言動が見られることもありますので、指導していきます。

**今後**  
 ・相手を思いやる気持ちを育むような活動を意図的に取り入れていきます。  
 ・道徳・学級活動の指導をより充実させ、自己肯定感や人間関係を育成していきます。  
 ・わくわくタイムなど縦割り班活動をより充実させていきます。

#### 「よくできている」「だいたいできている」(+評価)の割合

	保護者	児童	教職員
25年度	90.3%	90.0%	100%
24年度	92.3%	86.2%	100%

### 3. 場に応じた正しい言葉使いができるように指導していきます。



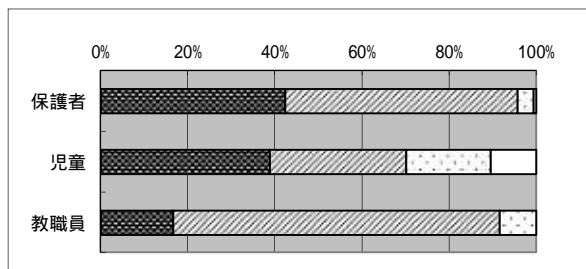
**現状**  
 ・昨年度に比べて、保護者の評価が上がっています。児童の中にも意識している場面が見られるようになってきました。

**今後**  
 ・大人には基本的に敬語を使うように職員全体で共通確認し、指導を進めていきます。  
 ・教職員自身も丁寧な言葉遣いを心がけます。  
 ・保護者会等でも話題に挙げ、家庭にも協力していただき取り組んでいきたいと考えています。

#### 「よくできている」「だいたいできている」(+評価)の割合

	保護者	児童	教職員
25年度	81.6%	81.4%	90.0%
24年度	76.9%	81.0%	88.5%

4. 5組と1、2、3組との交流および共同学習を計画的にすすめていきます。



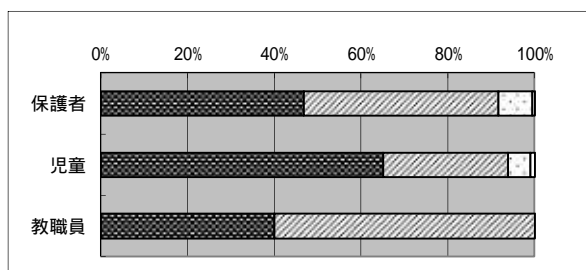
**現状**  
 ・学年によって、毎年の取り組みが固まりつつあります。  
 ・高学年をさらに充実させることが課題です。

**今後**  
 ・5組からの提案は今後もしていきますが、通常学級からも声をかけて、より充実した交流および共同学習を進めていきます。  
 ・年間計画を作成し、計画的に見通しをもって進めていきます。

「よくできている」「だいたいできている」(+評価)の割合

	保護者	児童	教職員
25年度	95.8%	70.1%	91.7%
24年度	92.9%	72.0%	89.5%

5. 学ぶことがはっきりしていて分かりやすい授業をすすめていきます。



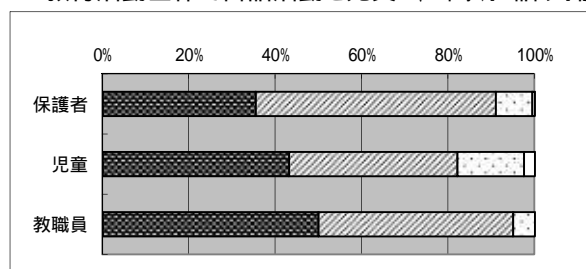
**現状**  
 ・学力状況調査(6年)では、都の平均を上回りました。  
 ・教師の意識は高いが、児童の実態としては、個別に支援を必要としている児童がいる現状です。

**今後**  
 ・保護者会等で学習についての取り組みや工夫などを保護者に伝えていこうと考えています。

「よくできている」「だいたいできている」(+評価)の割合

	保護者	児童	教職員
25年度	91.6%	93.9%	100%
24年度	94.2%	92.9%	96.2%

6. 教育活動全体で言語活動を充実し、「聞く」「話す」能力の向上を図ります。



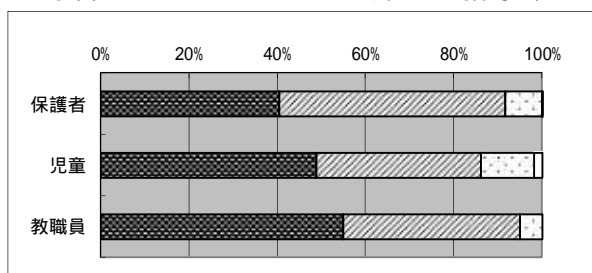
**現状**  
 ・全校朝会、集会等で聞く・話す態度の向上は目覚ましいです。多くの児童にこのような機会を与え、自信をつけさせていきます。

**今後**  
 ・各学年、年間1回以上の学習発表会の場の設定をし、話す・聞く力が積み上がるように指導していきます。  
 ・授業中には、考える場と相手に伝える場を設定していきます。

「よくできている」「だいたいできている」(+評価)の割合

	保護者	児童	教職員
25年度	91.0%	82.0%	95.0%
24年度	90.0%	79.9%	92.0%

7. 学習のルールについて児童に繰り返し指導し、ルールを守って学習がすすめられるようにします。



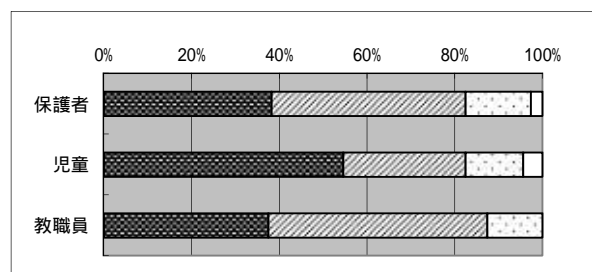
**現状**  
 ・大泉小10のルールが定着してきていますが、「指名されたら、返事をする」がまだもう少しです。  
 ・あいさつや活動後の後片付けがもう少しの児童もいますので、今後も指導していきます。

**今後**  
 ・大泉小10のルールは学校生活において、必要不可欠なルールなので、児童全員が定着できるよう指導していきます。

「よくできている」「だいたいできている」(+評価)の割合

	保護者	児童	教職員
25年度	91.7%	86.0%	95.0%
24年度	91.2%	83.3%	100%

8. 家庭と連携し、家庭学習の習慣が身に付けようとしています。



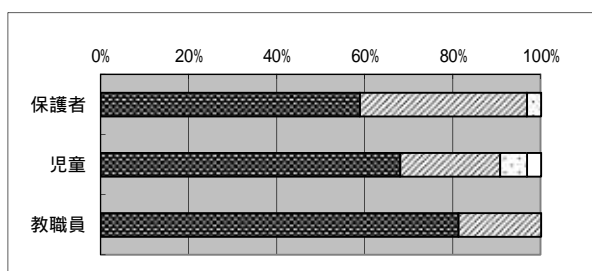
**現状**  
 ・10分×学年の家庭学習がまだ定着していない児童もいますので、家庭と協力しながら定着を目指していきます。

**今後**  
 ・学校経営方針として、4月だけでなく、折に触れて家庭学習の大切さを保護者に伝えていきます。  
 ・中1ギャップを防ぐためにも、低学年から、段階的に家庭学習の習慣化をできるようにしていきます。

「よくできている」「だいたいできている」(+評価)の割合

	保護者	児童	教職員
25年度	82.5%	82.5%	87.5%
24年度	85.6%	79.6%	95.0%

9. 持久走月間、なわとび月間の充実や環境整備をすすめ、児童がすすんで体力づくりに取り組む態度を育てていきます。



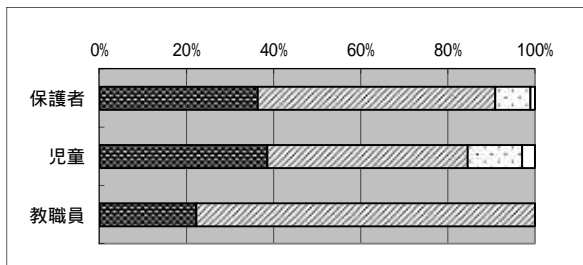
**現状**  
 ・概ねできていると捉えています。  
 ・持久走月間では、持久走記録会や持久走カードが児童の意識を高めることができました。

**今後**  
 ・体力テストの結果を受け、体育の授業等で苦手な運動領域を高める運動を取り入れていきます。  
 ・運動を日常化するために、これからもなわとび月間、持久走月間を継続していきます。

「よくできている」「だいたいできている」(+評価)の割合

	保護者	児童	教職員
25年度	96.8%	90.6%	100%
24年度	97.2%	84.3%	100%

10. 道徳や特別活動などの充実を通して、自己肯定感を高め、困難に立ち向かう強さを育てていきます。



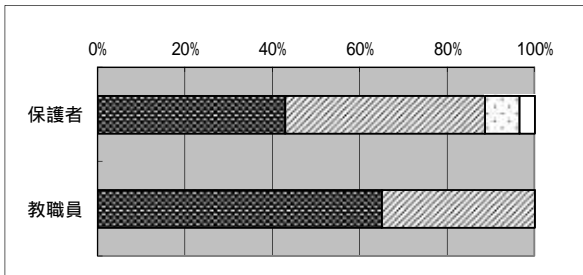
**現状**  
 ・道徳や特別活動の授業は自己肯定感を高めることに、繋がっています。  
 ・話し合い活動を積極的に取り組んでいます。

**今後**  
 ・道徳の授業の充実や道徳授業地区公開講座のさらなる工夫をしてよりよいものにしていきます。  
 ・話し合い活動を年間10～15時間確保していきます。

「よくできている」「だいたいできている」(+評価)の割合

	保護者	児童	教職員
25年度	90.9%	84.5%	100%
24年度	92.0%	86.6%	95.2%

11. 個々の児童の学校生活の様子について、必要に応じて保護者の皆様に丁寧に伝え、協力しながら指導をすすめていきます



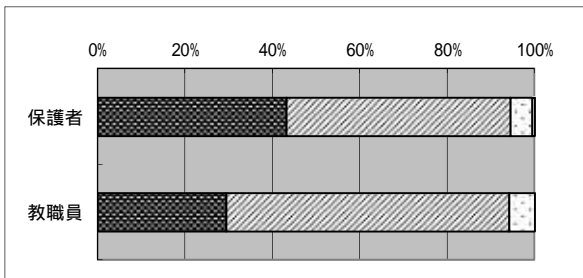
**現状**  
 ・保護者からは、概ねできているの評価をいただいています。  
 ・学年・学級便り、連絡帳、電話等で丁寧に情報を伝えるように今後もしていきます。

**今後**  
 ・児童の学校生活の様子を良い点も含めてさらに保護者や地域に伝えていけるようにしたいと考えています。  
 ・ホームページもさらに充実したものにしていきます。

「よくできている」「だいたいできている」(+評価)の割合

	保護者	教職員
25年度	88.6%	100%
24年度	90.0%	95.7%

12. 地域の教育力や環境を活用した授業を実践し、教育内容を豊かにしていきます。



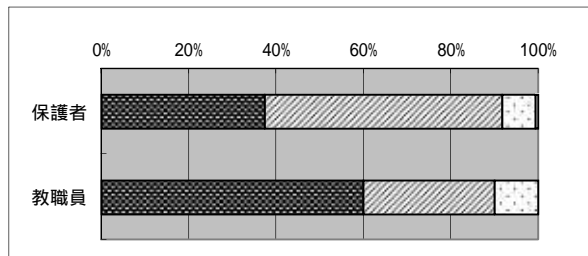
**現状**  
 ・小泉牧場、地域の畑、セーフティ教室、障害理解教育等、地域の教育力を活用させていただき、教育内容の充実を図ることができました。

**今後**  
 ・さらに情報収集に努め、積極的に地域の教育力を活用して、豊かな教育を進めていきます。

「よくできている」「だいたいできている」(+評価)の割合

	保護者	教職員
25年度	94.5%	94.1%
24年度	94.8%	95.0%

13. 研修を充実させ、指導力の向上を図り、児童が生き生きと活動する授業づくりをします。



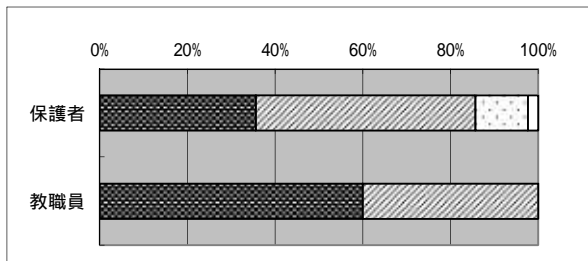
「よくできている」「だいたいできている」(+評価)の割合

	保護者	教職員
25年度	91.9%	90.0%
24年度	91.3%	96.2%

**現状**  
 ・小中一貫教育の課題改善の研究に取り組み小中相互の理解を深めることができました。この成果を児童の教育活動に生かしていきたいと考えています。

**今後**  
 ・9年間を見通した教育課題改善の取り組みを進めていきます。  
 ・中堅教員の指導力を、校内研修等に生かして、若手教員に伝え、学校全体の教育力を高めていきます。

14. 生活指導の課題については、一人一人のお子さんに応じた丁寧な指導をすすめていきます。



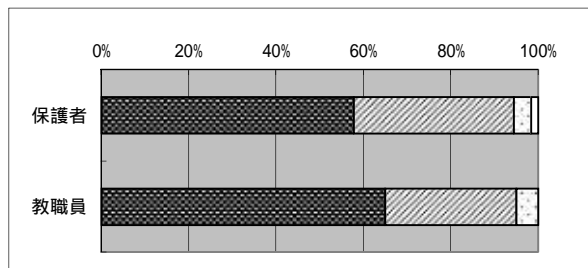
「よくできている」「だいたいできている」(+評価)の割合

	保護者	教職員
25年度	85.6%	100%
24年度	88.8%	96.2%

**現状**  
 ・児童一人一人の個別指導計画をもとに、児童一人一人に応じた丁寧な指導を進めていきます。

**今後**  
 ・児童の個別指導計画をもとに、活用を進めていきます。  
 ・担任だけでなく、ケース会議等において組織的に対応していきます。  
 ・スクールカウンセラーや心のふれあい相談員等と連携して、児童一人一人に丁寧に対応していきます。

15. 服務事故を絶対に起こさないようにします。教職員が場に応じた服装や正しい言葉遣いができるようにしていきます。



「よくできている」「だいたいできている」(+評価)の割合

	保護者	教職員
25年度	94.5%	95.0%
24年度	96.6%	100%

**現状**  
 ・概ねできていると捉えています。  
 ・C、D評価も真摯に受け止め、今後も注意をしていきます。

**今後**  
 ・年2回の服務事故防止研修会を活用し、服務事故を起こさないように徹底していきます。  
 ・服務事故防止月間に限らず、心配なことは互いに声をかけ合い、事故防止に努めていきます。